

真摯

Shinshi

所報タイトル「真摯」は所内で掲げる

平成 23 年度の目標です。

No. 73

発行責任者 / 小林 政氏

発行日 / 2011年7月1日


 ANAB
 ISO9001:2000認証取得
 E66010002R03

● 経営コンサルテイング
 ● 税務
 ● 会計

KOBAYASHI GONDOH
小林合同会計
 所長税理士 小林 政氏
 税理士 山野 基尚 税理士 須賀 保雄
 〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号
 TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

関東信越税理士会より永年勤続表彰

平成23年6月に行われた、《関東信越税理士会》定期総会で永年勤続表彰がありました。
それに伴い、所長より該当者7名へ表彰状の授与、並びに記念品の贈呈を行いました。



会 田 正 美	勤続35年
大 川 修	勤続35年
白 井 茂	勤続30年
柳 原 徹	勤続30年
野 村 洋 子	勤続20年
齋 藤 利 文	勤続15年
星 野 秀 明	勤続 5年



会 田 正 美

昭和51年1月 旧太田会計事務所に入所し35年間があつという間に過ぎました。
35年間無事務められたのも故太田所長及び小林所長また職場の諸先輩方はもちろん、顧問先の皆様のご指導があったからこそと感謝しております。

大 川 修

このたび、35年永年勤続の表彰を賜り、厚くお礼を申し上げます。
ひとえに、所長はじめ上司、同僚、顧問先の皆様方のお力添えあればこそであります。
思えば、昭和51年4月より35年の歳月、一瞬のような気もいたします。いまさらながらその間の無為に過ごしてきたことを反省し、これからは、より一層顧問先の皆様のご期待にこたえていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

白 井 茂

なんともお恥ずかしい限りの事務所勤務ではありますが、仕事をして酒を飲んでの30年が経過いたしました。振り返れば、顧問先、所員、事務所関連者等、多くの方々の薫陶を受け現在の私があるのですが、事務所員として社会人としてその責務を果たしたかという点ではあまり自信がありません。ただ、この30年の勤務で色々な業種の方と接遇し、色々な人生模様を垣間見ることがあり、多くの事柄を学ばせて戴きました。今後の残り少ない社会人生活ではありますが、皆さまから享受させて貰ったものを、私流に加工して、少しでもお届けしたいというのが今の矜持であります。

柳 原 徹

勤続30年表彰ありがとうございます。これも一重に所長を始め諸先輩方及び顧問先皆様のお陰と感謝しております。
30年振り返りますと、改めて一日一日の積み重ねが大事だと痛感しております。
今後も尚一層精進して参りますのでよろしく願いいたします。

野 村 洋 子

この度、勤続20年の表彰を戴きました。有難うございます。
思い返しますと私は、10年間の専業主婦からの再スタートでしたので、不安と緊張の毎日で、失敗としては自信をなくした日々を思い出します。そんな私が今日迄務め続けてこられましたのも、所長をはじめ職場の皆さんのお陰と感謝しております。勤続年数に比べ自身の成長が伴っておりませんが、反省を含め一層努力してまいりますのでこれからも宜しく願い致します。

齋 藤 利 文

平成 7年に入所しまして、早いもので15年が経過しました。
その間を振り返ってみますと、表彰に値するような功績は何一つ思い当たりません。日々クライアントの方々の御役に立てますようにとの思いで頑張ってまいりました。
今後も皆様の御役に立てますよう、精一杯がんばります！！

星 野 秀 明

小林合同会計事務所に入所して5年が経ちました。今日の私があるのは小林所長並びに諸先輩方、また顧問先の皆様のご指導があったからこそと思っています。この紙面をかりて御礼を申し上げます。
今後とも顧問先の皆様のお力になれるよう、微力ながら精一杯努めていきますので、宜しく願いします。

世紀のワイドショー！ザ・今夜はヒストリー³ 番組収録に招待して頂きました！

先日ご講演を頂きました加来耕三先生からご招待を頂き、先生がレギュラー出演されております「世紀のワイドショー！ザ・今夜はヒストリー」(TBS 毎週月曜よる7:00)の番組収録にお邪魔いたしました。

番組収録は6月23日に、東京タワーの向かいにある「東京タワースタジオ」で行われました。

当日は2週分の収録が行われましたが、私たちが見学をしたのは「～大奥リニューアルオープン～」(7月18日(月)放送分)というテーマで、春日局が大奥をどのように改革したのかという内容でした。

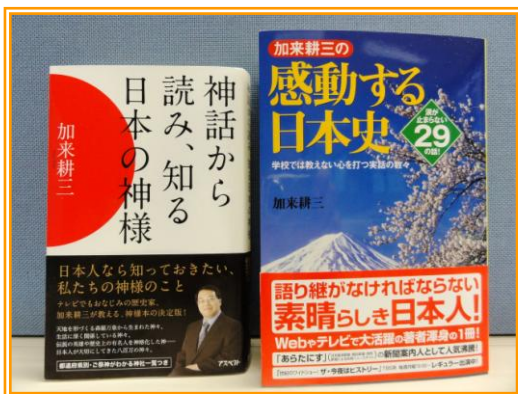


スタジオ内は決して広いわけでは無く、隅の空いたスペースにての見学となり、1時間の番組内容を、2時間半をかけて収録致しました。

番組の収録現場にて、司会の関口宏さんをはじめ出演者の生の姿を拝見し、また、番組がどのように収録されているのかを見ることができたことは、私たちにとって大変貴重な体験となりました。

また、加来先生の楽屋にて昼食をご馳走になり、また収録におけるエピソード話などを聞くこともできました。

先生には心より感謝致しております。



先生の新しい本が二冊発売することになりました。

『加来耕三の感動する日本史』(株ナツメ社)

『神話から読み、知る日本の神様』(株アスペクト)です。

ぜひ、お買い求めください！！

被災地支援 ボランティア

4

3月11日に発生した東日本大震災。

東北地方太平洋沖地震による津波では多くの死傷者を出し、福島第一原子力発電所事故では圧力容器の水素爆発により放射能が外部に放出、燃料棒のメルトダウンも発覚し、震災から4ヶ月以上が経った現在でも多くの人々が避難生活を強いられています。

7月1日（金）から3日（日）までの三日間、当事務所の顧問先である株式会社 マルニックス様 主催の被災地支援ボランティアが実施されました。当事務所からは村中友理・新井勝代の二名が参加し、現地視察並びに支援活動を行って参りました。



村中友理

今回東北ボランティアに参加して感じたことは、イメージしていたものと大部違うなという印象を受けました。

テレビを観ていると東北は危険だと思っていましたが、実際に行ってみると宿泊先の秋保温泉周辺は自然も多くとてもきれいな場所でした。ボランティア活動をした石巻市は被災の跡が所々視られましたが、かなり復興作業が進んでいるなど感じました。確かに被害が酷い所もありました。いわき市の港近くは家なども壊れており、漁業もまだ再開していないと聞きました。そしてこれよりひどい場所は立入禁止だと知り、地震の怖さを改めて思い知りました。

震災から4ヶ月、復興にはまだまだ時間がかかるとは思います。着々と進んでいる感じでした。なので、東北産の食べ物が食べられないとか、旅行にも行けないということはないのだと思いました。

また機会があればボランティアなど参加したいです。私が、東北復興の為にできることは余りありませんが、少しでも役に立つことができればと思います。

新井勝代

7月1日～7月3日にかけて、(株)マルニックス様が企画したボランティアに参加させていただきました。

ボランティア活動の内容は、側溝清掃でした。作業した地域は津波で浸水していたと聞きましたが、津波の爪痕は一見窺えませんでした。しかし、側溝の蓋を開けるとヘドロが溜っていました。側溝の泥は水分を含んでいるため掬いとるのも容易でない力仕事で、主に男性が側溝の蓋の開け閉め、スコップで泥の掻き出しをし、女性やお年寄りの方が泥を土嚢袋に入れ運ぶ作業をしました。臭いがきつく、重い土嚢袋を運ぶのは大変でした。今回ボランティア活動を行い、少しでも被災地の役に立つ事が出来て良かったと思っています。またボランティアをする機会がありましたら、是非参加したいと思います。

